

厚生労働科学研究費補助金

障害者政策総合研究事業

**障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等  
の実態把握及び改善手法の検証等のための研究**

平成30年度 統括研究報告書

研究代表者 中村 丁次

令和元（2019）年5月

# 目 次

## ・総括研究報告

障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び  
改善手法の検証等のための研究

### 1．障害児者通所事業所における栄養・食事の実態調査：

1 - 1．事業所調査 ----- 1

1 - 2．利用者個別調査 ----- 14

2．事業所訪問インタビュー調査 ----- 19

・研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 22

## < 研究組織 >

研究代表者	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学	学長
研究分担者	大和田 浩子	山形県立米沢栄養大学	教授
研究分担者	藤谷 朝実	神奈川県立保健福祉大学	准教授
研究分担者	笹田 哲	神奈川県立保健福祉大学	教授
研究分担者	田村 文誉	日本歯科大学	教授
研究分担者	行實 志都子	神奈川県立保健福祉大学	准教授
研究分担者	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学	教授
研究分担者	高田 健人	神奈川県立保健福祉大学	助教
研究分担者	飯田 綾香	神奈川県立保健福祉大学	助教
研究協力者	中山 健夫	京都大学大学院医学研究科	教授
研究協力者	難波 由起子	済生会横浜市東部病院 / 重症心身障害者施設サルビア	
研究協力者	加藤 すみ子	公益社団法人日本栄養士会福祉事業部担当理事	
研究協力者	井上 瑞菜	株式会社朝日エル社員 / (一社) 障害者の食と文化活動推進研究会 理事	
研究協力者	岡山 慶子	朝日エルグループ会長 / (一社) 障害者の食と文化活動推進研究会 理事	
研究協力者	北岡 賢剛	社会福祉法人グロー (GLOW) 理事長 / 一般社団法人障害者の食と文化活動推進研究会 理事	
研究協力者	末安 民生	(一社) 日本精神科看護協会 会長 / 岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座 教授 / (一社) 障害者の食と文化活動推進研究会 理事	
研究協力者	山口 日名子	(一社) 日本精神科看護協会 相談役 / 児童精神科医	
研究協力者	島貫 夏実	山形県立米沢栄養大学大学院生	
研究協力者	川畑 明日香	神奈川県立保健福祉大学大学院生	
研究協力者	濱田 秋平	神奈川県立保健福祉大学院予定者	

## ・統括研究報告



平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

分担研究報告書

障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び

改善手法の検証等のための研究

1 - 1 . 障害児者通所事業所における栄養・食事の実態調査：事業所調査

### 研究要旨

本研究は、障がい児者の通所事業所における栄養障害（低栄養及び過剰栄養）や摂食嚥下障害の発生状況や事業所としてのその対応の実態を把握し、在宅での食べることの支援を多職種によって推進する体制や取り組みについて検討し、今後の栄養管理体制やそのあり方に資することを目的とした。現在、都道府県別に層化無作為抽出された障害福祉サービス事業所及び児童発達支援事業所を対象に、無記名調査票の発送を行い、次年度にわたって調査票を回収中である。

### A . 研究目的

障がい者及び障がい児（以下、障がい児者）が快適な日常生活を営み、一人ひとりの自己実現をめざして健康・栄養状態を改善維持し、その「食べる楽しみ」を支援することは重要である<sup>1)</sup>。

平成 21 年 3 月から、施設の障がい児者の身体状況・栄養状態に着目し、管理栄養士が多職種と協働して個別の栄養ケア計画に基づき、適切な食事提供・食支援や栄養相談に取り組む栄養ケア・マネジメント（栄養マネジメント加算）が導入された<sup>2,3)</sup>。しかし、その取り組みは今もなお遅れている。一方、障害者総合支援法の再編により、障がい者の地域支援体制の強化が一層はかられ、通所事業所は、その重要な支援拠点となったが、通所サ - ビスには栄養ケア・マネジメントは導入されていない。

障がい者には、低栄養と過剰栄養の 2 重負荷が存在することを報告されている<sup>4)</sup>。さらに、障がい者では摂食嚥下機能障害や偏食、感覚過敏等の様々な食事時の徴候・症状が観察されている<sup>5,6)</sup>。一方、平成 27 年から、介護保険施設においては、このような摂食嚥下障害や食事時徴候・症状に対応した適切な食事提供や食事支援を行うために、管理栄養士や多職種による食事時の観察（ミールラウンド）やカンファレンスが導入された（経口維持加算）<sup>7-9)</sup>。

本研究事業は、通所事業所利用障がい児者の身体状況、栄養状態、食事時の徴候・症状に対応した個別の栄養ケア計画に基づく食事提供や食事支援の体制やあり方、さらには本人・家族の生活に合わせた栄養食事相談の基本的な方法について具体的に提示

することを目的として2年間の継続研究を行うものである。

そこで、本研究は、障がい児者の通所事業所における栄養障害(低栄養及び過剰栄養)や摂食嚥下障害の発生状況や事業所としてのその対応の実態を把握し、在宅での食べることの支援を多職種によって推進する体制や取り組みについて検討し、今後の栄養管理体制やそのあり方に資することを目的とした。なお、本調査においては、対象となった事業所管理者に対して、利用者特性別の栄養障害や摂食嚥下障害の発生、栄養食事の課題やその対応状況、さらに、これらとアウトカムとの関係について検証するための利用者個別調査への協力の意向についても把握することを目的とした。

## B. 研究方法

### 1) 研究デザイン

観察研究(横断研究)

### 2) 対象事業所と回答依頼対象者

平成30年度に厚生労働省ホームページに公表された障害者通所事業所(生活介護)8,917ヶ所及び障害児通所支援事業所(児童発達支援)6,702ヶ所の全14,619ヶ所から、サービス種別、都道府県別に層化無作為抽出された事業所とした。調査票への回答者は管理職あるいは管理職が依頼したスタッフとした。

### 3) 調査方法(情報提供を受ける手順)

無記名の調査票一式を対象事業所種別に管理者宛に郵送した。

調査項目は、.概要、.通所サービス利用者の栄養状態の把握について、.利用者

への食事提供、.管理栄養士・栄養士との関わりや栄養の課題への対応についてから構成され、詳細は以下のとおりとした。

記入日、記入者(管理者または管理者以外の職員とする)の記載

.概要:運営主体、主たる支援(障がい児)定員(1日当たり)、記入日の通所利用者数、記入日の通所利用者のうち食事提供体制加算の算定者数(障がい者)、障害種別人数、障害区分別人数(障がい者)、年齢別人数(障がい児)

.通所サービス利用者の栄養状態の把握について(記入日の通所利用者について)

- ・体重の記録(1ヶ月に1回以上)の有無
- ・身長記録の有無
- ・BMI18.5kg/m<sup>2</sup>未満(やせ)、25.0kg/m<sup>2</sup>以上(肥満)の者の人数(障がい者)
- ・小児期に用いられる体格評価指標を用いてやせと肥満の評価(障がい児)
- ・6ヶ月に2~3kg体重減少、体重増加があった者の人数(障がい者)
- ・摂食・嚥下機能に問題のある者の人数

.通所サービス利用者への食事提供について(記入日の通所利用者について):

- ・食事の提供の有無
- ・利用者ごとに栄養状態を考慮した量(エネルギー量)の食事提供をしているか(障がい者)
- ・利用者ごとに年齢・体格を考慮した量(エネルギー量)の食事提供をしているか(障がい児)
- ・食事摂取量(何割程度摂取したか)を毎食分の記録をしているか
- ・食事の個別対応として、食形態の調整(ミキサー、とろみづけ)をしているか、している場合の人数(障がい者)

・食事の個別対応として、食形態の調整(刻み、ミキサー、とろみづけ)をしているか、している場合の人数(障がい児)

・食事の個別対応として、栄養素の調整(エネルギー、タンパク質・炭水化物・脂質・塩分のいずれかの制限)を行っているか、いる場合の人数(障がい者)

・1歳以上2歳以下の子どもの乳汁以外の食物摂取が全くできない、もしくは極少量(必要量の10%以下)の子どもがいるか、いる場合の人数(障がい児)

・管理栄養士・栄養士との関わりや栄養の課題への対応について

・管理栄養士・栄養士の雇用の有(職種、雇用形態)、無(関わりの有(所属、関わりの内容)、無(関わりを望むか))

・栄養・食事の問題の相談をしたことがあるか、した場合の専門職種

・職員はミールラウンドをしているか、している場合の職種

・職員はカンファレンスで栄養・食事の課題を相談しているか、している場合の内容

#### 4) 解析方法

回収した無記名調査票からデータベース(Excelシート)への入力、研究代表者である中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長)が個人情報保護管理の規定に基づいて

委託契約をしたYKSサービス(株)(名古屋)が行い、その後、データベースはパスワード付きCD-Rに保管されることになる。当該データベースに基づき基礎集計、クロス集計および多変量解析を行う。

#### 5) 倫理面への配慮

本調査への回答は、研究対象者(事業所管理者)の自由意思に委ねられた事業所レベルの実態調査であり、個人情報は取り扱われない。

対象事業所の名簿は、神奈川県立保健福祉大学内の鍵のかかる保管庫にて保管された。回収調査票のデータベース入力は、研究班代表者が個人情報保護規定に基づいて契約したYKS(株)に依頼し、パスワード付きCD-Rにより書留で郵送され、神奈川県立保健福祉大学内PCにより分析を行うものである。CD-Rは、神奈川県立保健福祉大学内の鍵のかかる棚に保管し、研究終了時にPC内個人フォルダーのデータベースは削除され、事業所名簿、CDは研究終了後5年間まで厳重保管した後、粉碎処分される。

平成31年2月に神奈川県立保健福祉大学及び山形県立米沢栄養大学の研究倫理審査委員会に申請し、承認を得て実施している(承認番号:保大第71-64)。



平成30年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業） 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供などの実態把握及び改善方法の検証等のための研究

**「障害児者通所事業所における栄養・食事の実態調査：事業所調査  
（障害福祉サービス通所事業所（生活介護）」**

- ※ 貴事業所における「生活介護」利用者のうち、「施設入所支援」（貴事業所・他事業所を問わない）を利用しているものは除いてご回答ください。全ての利用者が「施設入所支援」利用者の場合は、回答せず調査票を破棄してください。
- ※ 通所事業所の管理者または担当職員が記入してください。
- ※ 併設する同一法人の事業所ではなく、本調査票のお送り先の事業所についてのみお答えください。

記入日

2019年（ ）月（ ）日

記入者（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ① 設置者・管理者
- ② サービス管理責任者
- ③ ①,②以外の職員

**I. 概要（記入日時点の状況）**

問1 調査対象サービスの運営主体について、該当する番号1つに○をつけてください。

- ①都道府県 市町村 一部事務組合 ②社会福祉協議会 ③社会福祉法人（社会福祉協議会以外）
- ④医療法人 ⑤営利法人（株式 合名、合資 合同会社） ⑥特定非営利法人（NPO）
- ⑦上記以外の法人

問2 調査対象サービスの定員(人/日)及び、記入日の通所利用者数を数字で記入してください。

定員数：（ ）人/日 記入日の通所利用者数：（ ）人

問3 食事提供体制加算の調査日の算定有無について、該当する番号一つに○をつけてください。  
算定有の場合には、調査日の算定人数を記入してください。

- ①算定している（ ）人/日 ②算定していない

問4 問3の記入日の通所利用者の障害種別人数を記入してください。0人は0と記入してください。

まず主たる障害に人数を記入してください。そして重複する障害がある場合には右の項目の障害別にそれぞれの人数を記入してください。

主たる障害	人数		重複する障害						
	主たる障害のみ	重複障害あり	肢体不自由	知的障害	発達障害	精神障害	難聴	視覚障害	難病
肢体不自由			/						
知的障害				/					
発達障害*					/				
精神障害						/			
難聴							/		
視覚障害								/	
難病									/
重症心身障害			/	/	/	/	/	/	/

\*自閉症、ADHD、LD等

裏ページへ続きます

問5 問3の記入日の通所利用者の障害区別人数を記入してください。0人は0と記入してください。

①区分1 ( )人 ②区分2 ( )人 ③区分3 ( )人 ④区分4 ( )人  
⑤区分5 ( )人 ⑥区分6 ( )人

Ⅱ. 通所サービス利用者の栄養状態の把握について（※記入日の通所利用者について）

問1 記入日の通所利用者について、体重の記録を、月に1回以上していますか？  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 記録している（最近1か月で1回以上） ② 記録していない

問2 記入日の通所利用者の身長記録はありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

① 記録がある ② 記録はない

問3 記入日の通所利用者のうち、BMI18.5kg/m<sup>2</sup>未満の痩せ、または25.0kg/m<sup>2</sup>以上の肥満の方はいますか？あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

痩せ：① いる ( )人 ② いない ③ 把握していない  
肥満：① いる ( )人 ② いない ③ 把握していない

※BMI（体格指数）= 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)

155cm 50kgの人の場合：50(kg) ÷ 1.55(m) ÷ 1.55(m) ≒ 20.8 kg/m<sup>2</sup>

問4 記入日の通所利用者のうち、この6ヶ月間に2～3kgの体重減少、または体重増加があった方はいますか？あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

減少：① いる ( )人 ② いない ③ 把握していない  
増加：① いる ( )人 ② いない ③ 把握していない

問5 記入日の通所利用者のうち、摂食・嚥下機能に問題がある方はいますか？  
あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

① いる ( )人 ② いない ③ 把握していない

Ⅲ. 通所サービス利用者への食事提供について（※記入日の通所利用者について）

問1 通所サービスでは食事を提供していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

① はい ② いいえ

※「はい」の場合、下記問2～問6にお答えください。

問2 記入日の通所利用者について、栄養状態を考慮した量（エネルギー量）の食事が提供されていますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、行事食は除いて考えてください。

① 提供している ② 提供していない（提供量は個人ごとに設定していなかった）

次ページへ続きます

問3 記入日の通所利用者について、事業所で提供されている食事の摂取量（何割程度摂取したか。自宅の食事は含みません。）を毎食分記録していますか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、行事食は除いて考えてください。

- ① 記録している      ② 記録していない

問4 記入日の通所利用者のうち、食事の個別対応として食形態の調整（ミキサー、とろみづけ）が必要な方がいますか？あてはまる番号1つに○をつけ、いる場合は人数を数字で記入してください。

- ① いる（    ）人      ② いない      ③ わからない

問5 記入日の通所利用者のうち、食事の個別対応として栄養素の調整（エネルギー・タンパク質・炭水化物・脂質・塩分のいずれかの制限）が必要な方がいますか？

あてはまる番号1つに○をつけ、いる場合は人数を数字で記入してください

- ① いる（    ）人      ② いない      ③ わからない

IV. 管理栄養士・栄養士との関わりや栄養の課題への対応について（この6ヶ月間の事業所としての状況をお伺いします）

問1. 貴事業所に管理栄養士・栄養士が雇用されていますか？あてはまる番号に○印

- ① いる（以下の該当するものに○ a.管理栄養士・常勤 b.管理栄養士・非常勤  
c.栄養士・常勤 d.栄養士・非常勤）  
② いない

※「いない」の場合、下記の間2～にお答えください。

問2. 通所サービスにおいて、管理栄養士・栄養士との関わりはありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。ありの場合には、関わりがあった職種を選んでください

- ① あり（以下のいずれか一つに○ a.管理栄養士・b.栄養士 c.両方）      ② なし

※管理栄養士・栄養士の所属はどこですか？あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

- ① 同一法人内（a.福祉施設 b.医療機関 その他（            ））      ② 市町村  
③ NPO法人      ④ その他（            ）

※どのような関わりでしたか？あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

- ① 食事時の観察（ミールラウンド）      ② 食事の個別調整      ③ 栄養相談  
④ 自宅訪問      ⑤ 他職種への助言      ⑥ その他（            ）

※関わりがない場合には、今後、管理栄養士・栄養士との関わりを望んでいますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① はい      ② いいえ      ③ わからない

裏ページへ続きます

問3. 職員が、栄養や食事の問題（摂食・嚥下も含む）に関して、専門職に相談をしたことがありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 相談した      ② 相談していない

※相談した場合、どの専門職に相談しましたか？あてはまる番号全てに○をつけてください。（複数回答可）

- ① 医師 ② 歯科医師 ③ 介護福祉士 ④ 看護師 ⑤ 准看護師 ⑥ 管理栄養士  
⑦ 栄養士 ⑧ 理学療法士 ⑨ 作業療法士 ⑩ 言語聴覚士 ⑪ 歯科衛生士 ⑫ 調理師  
⑬ その他（                  ）

問4. 職員は、通所利用者の食事時の観察（ミールラウンド）をしていますか？ あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① している      ② していない

※ミールラウンドをしている場合、どの職種がしていますか？あてはまる番号全てに○をつけてください。（複数回答可）

- ① 医師 ② 歯科医師 ③ 介護福祉士 ④ 看護師 ⑤ 准看護師 ⑥ 管理栄養士  
⑦ 栄養士 ⑧ 理学療法士 ⑨ 作業療法士 ⑩ 言語聴覚士 ⑪ 歯科衛生士 ⑫ 調理師  
⑬ その他

問5. サービス会議等のカンファレンスで通所利用者の栄養・食事の課題が相談されることがありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① ない      ② たまにある      ③ ある      ④ よくある

※栄養・食事の課題が相談される場合、どのような内容ですか？あてはまる番号全てに○をつけてください。（複数回答可）

- ① 体重減少 ② 体重増加 ③ 食欲不振 ④ 過食 ⑤ 拒食 ⑥ 偏食 ⑦ 早食い・丸呑み  
⑧ 食べこぼし ⑨ 便秘・下痢 ⑩ 脱水 ⑪ 食事治療が必要な疾患（糖尿病や腎臓病等）  
⑫ 口腔機能の低下（義歯、噛みあわせ等） ⑬ 嚥下機能の低下（むせ 誤嚥など）  
⑭ 宗教食等への対応 ⑮ その他（                  ）

平成30年度 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業） 障害児が快適な日常生活を営むための食事提供などの実態把握及び改善方法の検証等のための研究

**「障害児者通所事業所における栄養・食事の実態調査：事業所調査（児童発達支援）」**

- ※ 通所事業所の設置者・管理者または児童発達支援管理責任者が記入してください。
- ※ 併設する同一法人の事業所ではなく、本調査票のお送り先の事業所についてのみお答えください。

記入日

記入者（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- ① 設置者・管理者
- ② 児童発達支援管理責任者
- ③ ①,②以外の職員

**I. 概要（記入日時点の状況）**

問1. 主たる支援に該当する番号1つに○をつけてください。

- ① 児童発達支援センター ② 医療型児童発達支援センター ③ 児童発達支援事業
- ④ 放課後等デイサービス

問2. 調査対象サービスの運営主体について該当する番号1つに○をつけてください。

- ① 都道府県 市町村 一部事務組合 ② 社会福祉協議会 ③ 社会福祉法人（社会福祉協議会以外）
- ④ 医療法人 ⑤ 営利法人（株式 合名、合資 合同会社） ⑥ 特定非営利活動法人（NPO） ⑦ 上記以外の法人

問3. 調査対象サービスの定員(名/日)及び、記入日の利用者数を数字で記入してください。

定員数：( ) 人/日 記入日の利用者数：( ) 人

問4. 問3. の記入日の利用者の障害種別人数を記入してください。0人は0と記入してください。

まず主たる障害に人数を記入してください。そして重複する障害がある場合には右の項目の障害別にそれぞれの人数を記入してください。

主たる障害	人数		重複する障害						
	主たる障害のみ	重複障害あり	肢体不自由	知的障害	発達障害	精神障害	難聴	視覚障害	難病
肢体不自由			/						
知的障害				/					
発達障害*					/				
精神障害						/			
難聴							/		
視覚障害								/	
難病									/
重症心身障害			/	/	/	/	/	/	/

\*自閉症、ADHD、LD等

裏ページへ続きます

問5. 問3. の記入日の利用者の年齢別人数を記入してください。0人は0と記入してください。

- ① 2歳以下 ( )人    ② 3～4歳 ( )人    ③ 5～6歳 ( )人  
④ 7～9歳 ( )人    ⑤ 10～12歳 ( )人    ⑥ 13～15歳 ( )人  
⑦ 16歳以上 ( )人

II. 通所支援事業利用者の栄養状態の把握について（※記入日の利用者について）

問1. 記入日の利用者について、体重の記録を、月に1回以上していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 記録している（最近1ヶ月で一回以上）    ② 記録していない

問2. 記入日の利用者の身長を、年に1回以上していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 記録している（最近1年で一回以上）    ② 記録していない

問3. 記入日の利用者のうち、小児期に用いられる体格評価指標（カウプ指数15以下、成長曲線3%ile（-2SD）以下、BMI%ile3%以下をやせと評価）で痩せのこどもはいますか？あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

- ① いる ( )人    ② いない    ③ 把握していない

問4. 記入日の利用者のうち、小児期に用いられる体格評価指標（成長曲線97%ile（+2SD）以上、BMI%ile男児87%、女児89%以上、肥満度乳幼児15%、学童20%以上を肥満と評価）で肥満のこどもはいますか？あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

- ① いる ( )人    ② いない    ③ 把握していない

問5. 記入日の利用者のうち、摂食・嚥下機能に問題がある方はいますか？あてはまる番号に1つに○をつけ、いる場合には人数を数字で記入してください。

- ① いる ( )人    ② いない    ③ 把握していない

III. 通所サービス利用者への食事提供について（※記入日の利用者について）

問1. 通所サービスでは食事を提供していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① はい    ② いいえ

※「はい」の場合、下記問2～問6にお答えください。

問2. 記入日の利用者について、児の年齢・体格を考慮した量（エネルギー量）の食事が提供されていますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、行事食は除いて考えてください。

- ① 年齢・体格共に考慮して提供している    ② 年齢のみ考慮して提供している  
③ 体格のみ考慮して提供している    ④ 個人ごとの量調整なしで提供している

次ページへ続きます

問3. 記入日の利用者について、事業所で提供されている食事の摂取量（何割程度摂取したか。自宅の食事は含みません。）を毎食分記録していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、行事食は除いて考えてください。

① 記録している      ② 記録していない

問4. 記入日の利用者のうち、2歳以上の子どもにおいて食事の個別対応として食形態の調整（刻み、ミキサー、とろみづけ）が必要な方がいますか？あてはまる番号1つに○をつけ、いる場合は人数を数字で記入してください。

① いる（      ）人      ② いない      ③ わからない

問5. 記入日の利用者のうち、1歳以上2歳以下の子どもにおいて乳汁以外の食物の摂取が全くできない、もしくは極少量（必要量の10%以下）のこどもがいますか？あてはまる番号1つに○をつけ、いる場合は人数を数字で記入してください。

① いる（      ）人      ② いない      ③ わからない

IV. 管理栄養士・栄養士との関わりや栄養の課題への対応について（この6ヶ月間の事業所としての状況をお伺いします）

問1. 貴事業所に管理栄養士・栄養士が雇用されていますか？あてはまる番号に○印)

① いる（以下の該当するものに○ a.管理栄養士・常勤 b.管理栄養士・非常勤  
c.栄養士・常勤 d.栄養士・非常勤）  
② いない

※「いない」の場合、下記の間2～にお答えください。

問2. 通所支援事業サービスにおいて、管理栄養士・栄養士との関わりはありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。ありの場合には、関わりがあった職種を選んでください)

① あり（以下のいずれかの一つに○ a.管理栄養士 b.栄養士 c.両方） ② なし

※管理栄養士・栄養士の所属はどこですか？あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

① 同一法人内（a.福祉施設 b.医療機関 その他（      ）） ② 市町村  
③ NPO 法人      ④ その他（      ）

※どのような関わりでしたか？あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

① 食事時の観察（ミールラウンド） ② 食事内容の個別調整 ③ 食事介助 ④ 栄養相談  
⑤ 自宅もしくは保育園等への訪問 ⑥ 他職種への助言 ⑦ その他（      ）

※関わりがない場合には、今後、管理栄養士・栄養士とのかかわりを望んでいますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

① はい      ② いいえ      ③ わからない

裏ページへ続きます

問3. 職員が、栄養や食事の問題（摂食・嚥下も含む）に関して、専門職に相談をしたことがありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① 相談した      ② 相談していない

※相談した場合、どの専門職に相談しましたか？あてはまる番号全てに○をつけてください。（複数回答可）

- ① 医師    ② 歯科医師    ③ 介護福祉士    ④ 看護師    ⑤ 准看護師    ⑥ 保健師  
⑦ 管理栄養士    ⑧ 栄養士    ⑨ 理学療法士    ⑩ 作業療法士    ⑪ 言語聴覚士  
⑫ 歯科衛生士    ⑬ 児童指導員    ⑭ 保育士    ⑮ その他（                      ）

問4. 職員は、利用者の食事時の観察（ミールラウンド）をしていますか？あてはまる番号1つに○をつけてください

- ① している      ② していない

※ミールラウンドをしている場合、どの職種がしていますか？あてはまる番号全てに○をつけてください。（複数回答可）

- ① 医師    ② 歯科医師    ③ 介護福祉士    ④ 看護師    ⑤ 准看護師    ⑥ 保健師  
⑧ 管理栄養士    ⑧ 栄養士    ⑨ 理学療法士    ⑩ 作業療法士    ⑪ 言語聴覚士  
⑫ 歯科衛生士    ⑬ 児童指導員    ⑭ 保育士    ⑮ その他（                      ）

問5. サービス会議等のカンファレンスで利用者の栄養・食事の課題が相談されることがありますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。

- ① ない    ②たまにある    ③ある    ④よくある

※栄養・食事の課題が相談される場合、どのような内容ですか？あてはまる番号全てに○をつけてください。（複数回答可）

- ① 成長不良    ② 体重増加不良    ③ 身長増加不良    ④ 体重増加    ⑤ 食欲不振  
⑥ 過食    ⑦ 拒食    ⑧ 偏食    ⑨ 早食い・丸のみ    ⑩ 食べこぼし  
⑪ 便秘・下痢    ⑫ 水分摂取不良    ⑬ 離乳食    ⑭ 食事形状  
⑮ 摂食機能獲得遅延    ⑯ アレルギーによる食品除去    ⑰ 代謝障害等による治療食対応  
⑱ 宗教食等への対応    ⑲ その他（                      ）



現在、調査票を2年目に継続して回収中であり、C.研究結果、以下のD.考察、E.結論については次年度に報告されるものである。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

本年度はなし

##### 2. 学会発表

本年度はなし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

なし

#### 引用文献

- 1) 藤谷朝実、堤ちはる、杉山みち子、小山秀夫編著.子どもの「食べる楽しみ」を支援する:特別な配慮を必要とする子どもの栄養ケア・マネジメントのために.日本健康・栄養システム学会監修,建帛社,2018,176.
- 2) 障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第523号平成18年9月29日告示).
- 3) 栄養マネジメント加算及び経口移行加算等に関する事務処理手順例及び様式例の提示について(障発第0331002号).平成21年3月31日.
- 4) Ohwada H, Nakayama T, Tomono Y,

Yamanaka K. Predictors, including blood urine anthropometry, and nutritional indices, of all-cause mortality among institutionalized individuals with intellectual disability. Res Dev Disabil. 2013; 34(1):650-5.

- 5) 加藤美和、滝沢綾乃、濱田秋平、細野未香子、川畑明日香、藤谷朝実、高田健人、長瀬香織、臼井正樹、杉山みち子(2018).神奈川県指定障がい者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究.施設調査.日本健康・栄養システム学会雑誌 18(1).133.
- 6) 川畑明日香、藤谷朝実、高田健人、長瀬香織、臼井正樹、杉山みち子(2018).神奈川県指定障がい者支援施設における栄養ケア・マネジメントに関する研究.入所者横断調査から(口頭発表)(第1報).日本健康・栄養システム学会雑誌 18(1).134.
- 7) 杉山みち子・高田健人・小山秀夫・加藤昌彦・葛谷雅文・榎裕美・高田和子・大原里子・鎌倉やよい・宇田淳・野地有子・木嶋亜沙美・岡本節子・苅部康子 他.平成26年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)『高齢者保健福祉施策の推進に寄与する調査研究事業』施設入所・退所者の経口維持のための栄養管理・口腔管理体制の整備とあり方に関する研究報告書.一般社団法人日本健康・栄養システム学会,2015.
- 8) 藤川亜沙美・高田健人・長瀬香織・松本菜々・榎裕美・高田和子・大原里子・小山秀夫・杉山みち子(2018).介護保険施

- 設に入所する高齢者におけるミールラウンド体制と入院、死亡との関連.日本健康・栄養システム学会誌.18(2).12-20.
- 9) 藤川亜沙美・高田健人・長瀬香織・松本菜々・榎裕美・高田和子・大原里子・小山秀夫・杉山みち子(2018).介護保険施設に入所する高齢者における入院、死亡に関わる低栄養とミールラウンドによる観察項目との関連.日本健康・栄養システム学会誌.18(2).21-29.
- 10) 内閣府.“平成 30 年版 障害者白書 全文(PDF 版)”.2018.(参照 2018-12-5).
- 11) 内閣府.“障害者基本法”.  
<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/kihonhou/s45-84.html>, (参照 2018-12-4).
- 12) 厚生労働省.“障害者自立支援法”.  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/02/tp0214-1.html>, (参照 2018-12-4).
- 13) 障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第 523 号 平成 18 年 9 月 29 日告示).6) 栄養マネジメント加算及び経口移行加算等に関する事務処理手順例及び様式例の提示について(障障発第 0331002 号).平成 21 年 3 月 31 日.
- 14) 厚生労働省.“「施設等サービスに係る報酬について」障害福祉サービス等報酬改定検討チーム 第 8 回(H26.10.6)資料 2-2. < 基礎データ等 >”.2014.  
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12201000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu-Kikakuka/8-2-2.pdf>, (参照 2018-12-4).
- 15) 厚生労働省.“「口腔・栄養関係について」, 社保審 - 介護給付費分科会 第 153 回 (H29.11.29) 資料 1”.2014.  
[https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu\\_Shakaihoshoutantou/0000186481.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000186481.pdf), (参照 2018-12-8).

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

分担研究報告書

障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び

改善手法の検証等のための研究

1 - 2 . 障害児者通所事業所における栄養・食事の実態調査：利用者個別調査

### 研究要旨

通所事業所利用障がい児者における低栄養や過剰栄養、摂食嚥下障害の発生頻度、食事状況、低栄養や摂食嚥下障害とアウトカムとの関連、ならびに管理栄養士・栄養士の関わりは明らかにされていない。そこで本研究は、通所事業所利用障がい児者における低栄養、過剰栄養、摂食嚥下障害の発生頻度と食事状況の実態、低栄養あるいは過剰栄養による入院発生や個別の自立支援目標の達成との関連、について、管理栄養士・栄養士の関わりや多職種によるミールラウンド等の関連について検証することを目的としている。現在、作成した計画書について研究倫理審査委員会による審査中である。

### A . 研究目的

通所事業所利用障がい児者における低栄養や過剰栄養、摂食嚥下障害の発生頻度、食事状況、低栄養や摂食嚥下障害とアウトカムとの関連、ならびに管理栄養士・栄養士の関わりは明らかにされていない。

そこで、本研究は、通所事業所利用障がい児者を対象とした 2 年間の継続研究により低栄養、過剰栄養、摂食嚥下障害の発生頻度と食事状況の実態

低栄養あるいは過剰栄養による入院発生や個別の自立支援目標の達成との関連

について、管理栄養士・栄養士の関わりや多職種によるミールラウンド等の関連について検証するものである。なお、その成果は、当該研究班による事業所調査や事業所訪問インタビュー調査からの成果と合わせて、在宅の障がい児者にとって身近な通所事業所における栄養管理の体制の必要性や、従来の制度を改正した新たな栄養食事

支援の体制や取り組みの方法について提言し、障がい児者の自立支援の推進に資することができるものである。

### B . 研究方法

#### 1 ) 研究デザイン

観察研究（横断研究および後ろ向き縦断研究）

#### 2 ) 対象事業所

平成 30 年度に厚生労働省ホームページに公表された障害者通所事業所（生活介護）8,917 ケ所及び障害児通所支援事業所（児童発達支援）5,702 ケ所の全 14,619 ケ所から、サービス種別、都道府県別に層化無作為抽出された障害者通所事業 1,845 ケ所、障害児通所支援事業所 1,800 ケ所を対象とした事業所調査が先行して実施されている。この事業所調査によって回収された調査票に

より個別調査への協力意向「有」(有の場合には、住所、事業所名が記載される)と回答した全事業所を対象とする。回答者は管理者あるいは管理者の依頼した担当スタッフとする。

### 3) 対象利用者

2019年3月の1ヶ月間に対象事業所を利用した全員を対象として既存資料から情報の提供を得る。除外基準は、障害者通所事業所では施設利用者及び18歳未満の者と65歳以上の高齢者、児童発達支援事業所においては6歳以上の学童とする。

### 4) 調査方法(情報提供を受ける手順)

連結可能匿名化した調査票一式を管理者宛に郵送する。事業所の管理者あるいは管理者の依頼した担当スタッフは、2019年3月1ヶ月間の利用者から障害者通所事業所では施設利用者及び18歳未満の者と65歳以上の高齢者を除外し、児童発達支援事業所においては6歳以上の学童を除外して、事業所が保有する既存資料から、調査票への転記によって提供する。

事業所が保有する既存資料(アセスメント票、支援サービス食事計画書の喫食率、身長・体重記録表等)から調査票に転記し提供してもらうデータは次のとおりである。

【障害者通所事業所利用者について】

時点	項目
2019年3月末の既存資料から	基本属性、家族情報：性別、年齢、通所サービス利用回数（1ヶ月あたり）、同居家族、日中独居、障害種、障害区分、生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病）
	食事提供状況：通所サービスでの食事提供の有無、食事形態、食事摂取割合、とろみ剤の使用、食事の際に奥歯で噛みしめている、食事中にむせたり咳き込んだりすることがある、食事介助（全介助、一部介助、自力）、栄養食事の課題
	身長、体重、日常の食事：身長、体重、褥瘡、口の中や周辺にただれ・腫れ・痛みがある、自分で買い物へ出かけている（概ね週1回以上）、自宅等では食事を自分で作っている（概ね週1回以上）、自宅等では一緒に食事を食べる人がいる（概ね週1回以上）
サービス利用開始時点	サービス利用開始時の年月日、利用開始前の状況（在宅での生活、入院、施設入所、その他）、年齢、体重（開始時、6ヶ月後、1年後）、生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧、慢性腎臓病）
2018年9月末日時点	2018年9月末日時点の通所サービス利用の有無、体重
2018年9月末～2019年3月末の6ヶ月間	管理栄養士・栄養士との関わり、関わりの内容（食事時の観察、食事の個別調整、栄養相談、自宅訪問、他職種への助言、その他）、イベント発生（入院、施設入所、障害区分の重症化、利用中止、特になし）、6ヶ月間の個別支援計画の目標の達成（達成しなかった、おおむね達成した、達成した）

【障害児通所支援事業所の利用者について】

時点	項目
2019年3月末の既存資料から	基本属性、家族情報：性別、年齢、通所サービス利用回数（1か月あたり）、日中主に生活する場所（幼稚園、保育園、家庭内のみ、その他）、同居家族、障害種
	食事提供状況：通所サービスでの食事提供の有無、食事形態（離乳食、幼児食、きざみ/軟菜食、嚥下調整食、乳/経管栄養のみ）、食事摂取割合、月齢・年齢不相の食事調整が必要であるか、離乳期を通常通りに経過し年齢相当の摂食機能を獲得しているか、食事介助（全介助、一部介助、自力）、栄養食事の課題
	身長、体重、排泄、発達：身長、体重、排泄（おむつ使用、トイレでできる、トイレとおむつの併用）、発達（座位がとれる、歩行ができる、発語がある、会話ができる）、口の中や周辺にただれ・腫れ・痛みがある
サービス利用開始時点	サービス利用開始時の年月日、利用開始前の状況（在宅での生活、入院、施設入所、その他）、体重
2018年9月末日時点	2018年9月末日時点の通所サービス利用の有無、体重
2018年9月末～2019年3月末の6ヶ月間	管理栄養士・栄養士との関わり、関わりの内容（食事時の観察、食事の個別調整、食事介助、栄養相談、自宅/保育園への訪問、他職種への助言、その他）、イベント発生（入院、施設入所、障害の重症化、利用中止、特になし）、6ヶ月前に比べて成長においての目標は達成されたか（順調に成長、成長停滞、急激な体重減少、急激な体重増加、わからない）

## 5) 解析方法

回収した調査票から匿名化されたデータベースへの入力、研究代表者である中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長)が個人情報保護管理の規定に基づいて委託契約をした YKS サービス(株)(名古屋)が行い、その後、データベースはパスワード付き CD-R に保管され、神奈川県立保健福祉大学へ書留送付される。障がい者及び障がい児のそれぞれについて、提示した ~ の目的に沿って以下の分析が行われる。

低栄養、過剰栄養、摂食嚥下障害の発生頻度と食事状況の実態

基本集計に加え、サービス種、性別、年齢階級別、要介護度別、認知機能自立度別、食事形態別、サービス利用期間別等で集計

低栄養あるいは過剰栄養による入院発生や個別の自立支援目標の達成との関連

クロス集計、多変量解析(サービス種、サービス利用期間、個人特性を調整(性別、年齢階級、要介護度、認知機能自立度、食事形態)

について、管理栄養士・栄養士の関わり

や多職種によるミーラウンド等の関連要因の有無別に層別解析、多変量解析する。

## 6) 研究倫理審査委員会の承認

神奈川県立保健福祉大学及び山形県立大学の研究倫理審査委員会に申請中である。

C.研究結果、D.考察、E.結論については次年度報告するものである。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

本年度はなし

### 2. 学会発表

本年度はなし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

なし

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

## 統括研究報告書

障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び

改善手法の検証等のための研究

### 2. 事業所訪問インタビュー調査

#### 研究要旨

本研究は、障がい児者の通所サービス事業所に対する訪問インタビュー調査を実施し、事業所調査や利用者個別調査から得られた結果を補完し、課題としてとりあげるべき内容の検討を行うことを目的とした。障がい児者の通所サービス事業所 5 か所の管理者及びスタッフ 1~2 名を対象に、インタビューガイドに沿ったグループ・インタビューを全 2 時間程度行った。現在、調査より得られた事業所ごとの逐語録から、インタビューガイドにそって概要の抽出を行いテーブル（一覧表）の作成を進めており、事業所調査や利用者個別調査の結果を合わせて次年度に検討するものである。

#### A. 研究目的

本研究事業は、通所サービス事業所利用障がい児及び障がい者（以下障がい児者）の身体状況、栄養状態、食事時の徴候・症状に対応した個別の栄養ケア計画に基づく食事提供や食事支援の体制やあり方、さらには本人・家族の生活に合わせた栄養食事相談の基本的な方法について具体的に提示することを目的として 2 年間の継続研究を行うものである。そこで、当該研究は、障がい児者の通所サービス事業所に対する訪問インタビュー調査を実施し、課題としてとりあげるべき内容の検討を行うことを目的とした。

#### B. 研究方法

##### 1) 対象施設及び対象

東京、神奈川、新潟、大阪の障害児者の通所サービス系事業所 5 か所の管理者及びスタッフ 1~2 名（管理栄養士・栄養士が関わ

っている場合にはスタッフに含める）計 5~10 名とした。

##### 2) 調査方法

1) に対して、事業所管理者及びスタッフへの依頼状、説明書、同意書、同意撤回書、研究倫理相談窓口のご案内を郵送した。調査への協力は事業所管理者及びスタッフの自由な意志に任され、同封筒により同意書を回収した。同意を得られた事業所には、訪問日に、インタビューガイドに沿ったグループ・インタビューを、簡単な説明等を含めて全 2 時間程度行った。

##### 3) 調査内容

インタビューガイドは以下の通りとした。利用者の自立状況について  
利用者の食事と関わる生活行為の自立（買い物、食事準備、食べることなど）につ



いて

通所サービス事業所での食事の提供における状況と問題について

利用者の摂食嚥下機能の低下や食事時の徴候・症状における問題について

利用者の低栄養(低体重や体重減少)の状況について

利用者の低栄養とリハビリテーションの効果や生活行為の自立の関係について

栄養スクリーニングについて

している場合の手順

管理栄養士・栄養士について

関わっている場合の手順

関わっていない場合の対応

栄養や摂食に関わる多職種について

関わっている場合は、事業所内部あるいは外部からどのように関わっているか

管理栄養士・栄養士の関わりがある理由、関わりがない理由について

食形態などの変更方法と対応(個別化を含めて)について

今後の栄養管理や栄養相談の在り方の要望について

#### 4) 録音と逐語録の作成

対象者のインタビューの同意は、インタビュー前に、インタビューガイドに記載した通りに同意の意志の確認を経て IC レコーダーに収録し保存した。その後、業務委託契約を結んだ委託業者(株式会社 IP パートナース コエラボ、東京)に逐語録作成を委託した。

#### 5) 逐語録からの課題テーブルと活用

逐語録から、インタビューガイドの ~ について概要の抽出を行いテーブル(一

覧表)作成をする。このテーブルは研究班の委員会に提示し委員の意見を募り、事業所実態調査や利用者個別調査の結果を補完し、調査成果の解釈やそこからの提言の妥当性を高めるためのものである。また、食事提供や食事支援の体制やあり方、さらには本人・家族の生活に合わせた栄養食事相談の基本的な方法についてとりあげるべき内容や栄養管理体制等のあり方についての検討のために活用される。

#### 6) 倫理面への配慮

協力は、事業所管理者及びスタッフの自由な意志に任された。その後も報告書の作成および原稿入稿までは撤回でき、その場合は、事業所のすべてのデータは削除されるものとした。インタビュー内容は、要配慮個人情報に含まれないものとした。しかし、万が一録音内容に含まれた場合には、委託会社によって逐語録作成時に全て消去されるよう同社の同意を得た。研究分担者が IC レコーダーの録音内容を電子媒体化する時に、事業所 ID を交付し匿名化された。インタビューの時間的負担は全 2 時間程度であり、その他のリスクはなかった。

平成 31 年 1 月に神奈川県立保健福祉大学の研究倫理審査委員会の承認を得た(承認番号: 保大第 71-55)。

現在、各事業所の逐語録から、インタビューガイドの ~ について概要の抽出を行いテーブル(一覧表)の作成をしているところであり、C.研究結果、D 考察、E.結論、F 研究発表については次年度になる。

#### F. 健康危険情報

なし

**G．研究発表**

**1．論文発表**

なし

**2．学会発表**

なし

**H．知的財産権の出願・登録状況**

(予定を含む。)

なし

## **・研究成果の刊行に関する一覧表**



## 研究成果の刊行に関する一覧表

### 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中村丁次	第1章 臨床栄養学の基礎,第4章 疾病者の栄養アセスメント,第29章 身体・知的障害	中村丁次・川島由起子・外山健二	健康・栄養科学シリーズ臨床栄養学 改訂第3版	南江堂	東京	2019	3-15, 28-41, 360-369
藤谷朝実	第2章 子どものための栄養ケア・マネジメントの実践	藤谷朝実・堤ちはる・杉山みち子・小山秀夫	子どもの食べる楽しみを支援する栄養ケア・マネジメント	建帛社	東京	2018	15-36
藤谷朝実	第6章 子どもの食べる楽しみの充実をめざす栄養ケア・マネジメント	藤谷朝実・堤ちはる・杉山みち子・小山秀夫	子どもの食べる楽しみを支援する栄養ケア・マネジメント	建帛社	東京	2018	127-138
笹田哲	第5章 子どもの気になる食行動の見方とその指導法	藤谷朝実・堤ちはる・杉山みち子・小山秀夫	子どもの食べる楽しみを支援する栄養ケア・マネジメント	建帛社	東京	2018	117-126
田村文誉	第4章 子どもの摂食嚥下の具体的なアセスメントの実践	藤谷朝実・堤ちはる・杉山みち子・小山秀夫	子どもの食べる楽しみを支援する栄養ケア・マネジメント	建帛社	東京	2018	103-114
田村文誉	07.嚥下機能低下	一般社団法人日本老年歯科医学会	かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門	株式会社デンタルダイヤモンド社	東京	2019	62-68

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中村丁次	栄養の歴史と現代的意義を考える(第1回)食事の近代化と栄養	臨床栄養	134(1)	115-117	2019
中村丁次	【栄養100年 その歴史を紐解き、未来への旗を揚げる】	日本栄養士会雑誌	62(1)	4-14	2019
中村丁次	フレイル予防と栄養	予防医学	第60号	41-46	2019
中村丁次	栄養の歴史と現代的意義を考える(第2回)戦前、戦後の栄養	臨床栄養	132(2)	227-229	2019
Nakajima K ,Iwane T , Higuchi R , Shibata M , Takada K , Uda K , Anan M , Sugiyama M , Nakamura T	Kanagawa Investigation of the Total Check-up Data from the National database (KITCHEN):protocol for data-driven population-based repeated cross-sectional and 6-year cohort studies .	BMJ Open.	21;9(2)	e023323.doi:1136/bmjopen-2018-023323	2019
Nakajima K , Higuchi R , Iwane T , Shibata M , Takada K , Sugiyama M , Matsuda M , Nakamura T	High Incidence of Diabetes in People with Extremely High High-Density Lipoprotein Cholesterol : Results of the Kanagawa Investigation of Total Checkup Data from the National Database-1 ( KITCHEN-1 ) .	J Clin Med.	19;8(3)	pii:E381.doi:10.3390/jcm8030381	2019
笹田哲	不器用な子どもたちの「できた」が増える実践的な支援	小児科診療UP-to-DATE	31	35-38	2018
笹田哲	発達性強調運動障害への対応～動作ピラミッド法による生活動作の評価と指導プログラム～	小児科	59(6)	835-842	2018
笹田哲	給食が苦手な子どもへの支援.医療との連携 作業療法士	LD ADHD &ASD	No14	50-51	2018

笹田哲	動作ピラミッド法による不器用な子どもの体・指先の評価～気になる動きを読み解く～	チャイルドヘルス	21 ( 6 )	49-51	2018
笹田哲	できたが増える できる体のつくり方 上手にスプーンですくえない	チャイルドヘルス	21 ( 7 )	56-57	2018
笹田哲	できたが増える できる体のつくり方 箸が上手に使えない	チャイルドヘルス	21 ( 8 )	58-59	2018
田村文誉, 辰野隆, 蒲地史郎, 鈴木健太郎, 山田裕之, 田中祐子, 菊谷武	自閉症スペクトラム症児者の保護者が感じている食の問題に関するアンケート調査	障歯誌	39 ( 2 )	126-136	2018
Igarashi K, Kikutani T, Tamura F	Survey of suspected dysphagia prevalence in home-dwelling older people using the 10-Item Eating Assessment Tool (EAT-10)	PLoS One	14 ( 1 )	e0211040	2019
田村文誉	食べる機能：食べ方(食行動)と外部観察評価(摂食機能)	小児歯科臨床	23 ( 9 )	28-33	2018
田村文誉, 水上美樹	小児の口腔機能発達評価マニュアルを応用した口腔機能発達の支援～食べ方・栄養編～	日本歯科医師会雑誌	71 ( 8 )	45-53	2018
田村文誉	新しい授乳・離乳の支援ガイドについてー歯科からみた口腔機能発達とその支援ー	小児科臨床	71 ( 11 )	163-169	2018
町田麗子, 田村文誉	小児在宅歯科訪問における摂食指導	小児歯科臨床	23 ( 6 )	34-39	2018
田村文誉, 石黒光	小児の過敏に対する脱感作法を再考する(前編)	デンタルハイジーン	38 ( 7 )	830-832	2018
田村文誉, 石黒光	小児の過敏に対する脱感作法を再考する(後編)	デンタルハイジーン	38 ( 8 )	934-936	2018
田村文誉	在宅療養児の歯科サポートネット	nico	144	37-44	2018

田村文誉, 飯塚真司	小児在宅歯科医療の拡充にむけて	the Quintessence	37 ( 11 )	31-34	2018
水上美樹, 田村文誉	いま注目の口腔機能発達不全症とは!?	デンタルハイジーン	39 ( 1 )	63-68	2019
田村文誉	口腔機能発達不全症-「子どもの食の問題」に歯科がすべきこと	DENTAL DIAMOND	44 ( 3 )	47-62	2019
田村文誉	0歳児からの食べる機能	日歯8020テレビ, 日本歯科医師会HP	1月9日		2019
田村文誉	ちょっと待って! 離乳食「うちの子〇〇!」はママのカン違いかも!?	ベビーカレンダー, ベビーカレンダーHP	1月27日		2019
田村文誉	離乳食のはじめどきは? 遅らせてもいいの? 口から出してしまうときは?	ベビーカレンダー, ベビーカレンダーHP	1月25日		2019
行實志都子, 八重田淳, 柴田貴美子, 水野高昌	精神障害者と家族のピアサポート体験による意識変化と自己成長	リハビリテーション連携科学	19 ( 2 )	132-138	2018
松山紗奈江, 加藤昌彦, 榎裕美, 宇田淳, 高田和子, 大原里子, 遠又靖丈, 苅部康子, 堤亮介, 小山秀夫, 高田健人, 藤川亜沙美, 長瀬香織, 松本菜々, 杉山みち子	介護保険施設における経口維持による看取り及び在宅復帰支援のための栄養ケア・マネジメントの関連要因についての横断的検証~特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設における全国調査より~	日本健康・栄養システム学会雑誌	18 ( 2 )	2-11	2019
藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子	介護保険施設入所高齢者における入院、死亡に関わる低栄養とミールラウンドによる観察項目との関連	日本健康・栄養システム学会雑誌	18 ( 2 )	12-20	2019
藤川亜沙美, 高田健人, 長瀬香織, 松本菜々, 榎裕美, 高田和子, 大原里子, 小山秀夫, 杉山みち子	介護保険施設入所高齢者におけるミールラウンド体制と入院、死亡との関連	日本健康・栄養システム学会雑誌	18 ( 2 )	21-29	2019



学会発表・講演等

発表者氏名	タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
藤谷朝実	障害児者施設における 栄養ケア・マネジメント	栄養ケア・マ ネジメント研 修会	主催：横浜 市健康福祉 局障害支援 課	場所：横浜 市開港記念 館1号室	2018/9/26
藤谷朝実	特別な配慮を必要とする 子供のための栄養ケ ア・マネジメント	子どもの食 べるを支援する 特別な配慮を 必要とする栄 養ケア・マネ ジメントのた めに	日本健康・ 栄養システ ム学会	東京八重洲 ホール	2019.3.3
Yajima Y, Suda M, Sagawa K, Furuya H, Igar ashi K, Tamura F, Kikutani T	Clinical Investigation on Outpatients Wit h Sarcopenic Dyspha gia	96th General Session & Exhibition of the IADR P ROGRAM B OOK	96	174	2018
Shindo H, Yaji ma Y, Sagawa K, Furuya H, Igar ashi K, Tamura F, Kikutani T	Oral Care Before Be dtime Reduces Bacte rial Number in Elde rly People	96th General Session & Exhibition of the IADR P ROGRAM B OOK	96	152	2018
Sagawa K, Fur uya H, Yajima Y, Shindo H, Igar ashi K, Tamura F, Kikutani T	Masticatory path pat tern and oral functio n relationship in he althy elderly	96th General Session & Exhibition of the IADR P ROGRAM B OOK	96	174	2018
Igarashi K, Yaji ma Y, Shindo H, Furuya H, Sa gawa K, Tamura F, Kikutani T	Effects of dysphagia rehabilitation on fun ctional status in eld erly patients	96th General Session & Exhibition of the IADR P ROGRAM B OOK	96	152	2018
Furuya H, Yaji ma Y, Sagawa K, Shindo H, Igar ashi K, Tamura F, Kikutani T	Conditions for oral f eeding resumption in gastrostomy tube-fe d patients	96th General Session & Exhibition of the IADR P ROGRAM B OOK	96	174	2018

矢島悠里, 田村文 誉, 山田裕之, 保 母妃美子, 佐川敬 一朗, 古屋裕康, 新藤広基, 磯田友 子, 須田牧夫, 戸 原 雄, 児玉実 穂, 菊谷 武	early exposureとして の在宅訪問歯科診療に ついて	障歯誌	39(3)	385	2018
永島圭悟, 田村文 誉, 水上美樹, 古 屋裕康, 町田麗 子, 菊谷 武	オンライン医療による 小児患者への摂食指導 の試み	障歯誌	39(3)	325	2018
田中祐子, 田村文 誉, 松山美和, 山 田裕之, 保母妃美 子, 磯田友子, 永 島圭悟, 水上美 樹, 西澤加代子, 菊池真依, 菊谷 武	口腔リハビリテーショ ンクリニックにおける 偏食を有する障害児の 実態調査	障歯誌	39(3)	255	2018
小坂美樹, 小方清 和, 横山雄士, 田 村文誉, 田村光 平, 岡山秀明, 小 宮山修邦, 杉本 明, 辰野 隆, 山 田裕之, 元橋功 典, 菊池栄子, 水 上美樹	歯科医療従事者の小児 在宅歯科診療に対する 関心についてのアンケ ート調査 -多摩小児在 宅歯科医療連携ネット 活動報告-	障歯誌	39(3)	272	2018
山田裕之, 田村文 誉, 菊谷 武	首都圏の母子周産期医 療センターに歯科との 連携状態や必要度につ いて確認したアンケー ート	障歯誌	39(3)	313	2018
元開早絵, 鰐原賀 子, 須釜慎子, 新 藤広基, 川名弘 剛, 町田麗子, 田 村文誉, 菊谷 武	健常成人における舌運 動課題想起時及び映像 視聴時の脳機能の評価	障歯誌	39(3)	392	2018
矢島悠里, 須田牧 夫, 佐川敬一朗, 古屋裕康, 五十嵐 公美, 田村文誉	口腔機能低下に対する 症型分類の試み	老年歯学	33(2)	120-121	2018
戸原 雄, 白野美 和, 赤泊圭太, 荒 川いつか, 澤田佳 代, 田村文誉, 菊 谷 武, 戸谷修 二, 田中 彰	当院におけるICT(Net 4U)を用いた多職種連 携への取り組み	老年歯学	33(2)	157-158	2018

古屋裕康,石黒幸枝,久保山裕子,本川佳子,渡邊裕,田村文誉,菊谷武	通所介護および通所リハビリテーション施設での新たな食支援モデルの検討	老年歯学	33(2)	134-135	2018
田村文誉,菊谷武,山田裕之,矢島悠里,須田牧夫,佐川敬一朗,古屋裕康,新藤広基,磯田友子,吉岡裕雄,羽村章	感想文の内容分析による言語摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける臨床実習の教育効果	老年歯学	33(2)	188-189	2018
佐川敬一朗,矢島悠里,仲澤裕次郎,永島圭悟,宮下大志,田村文誉,菊谷武	健康高齢者の下顎運動経路のパターンと咀嚼能力,口腔機能との関連	老年歯学	33(2)	95-96	2018
田村文誉,永島圭悟,水上美樹,古屋裕康,町田麗子,菊谷武	遠隔診療による摂食指導の小児患者への試み	摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集	24	668	2018
山田裕之,田村文誉,關達也,吉岡裕雄,菊谷武	口腔周囲筋の活動を複合的に測定できる小型筋電センサーシステムの小児への応用	摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集	24	664	2018
町田麗子,磯田友子,元開早絵,児玉美穂,西林桂子,田村文誉	軟骨低形成症の摂食嚥下障害児に対する在宅摂食嚥下リハビリテーションの5年間の関わり	摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集	24	537	2018
五十嵐公美,新藤広基,矢島悠里,古屋裕康,佐川敬一朗,須田牧夫,田村文誉,菊谷武	高齢者における摂食嚥下リハビリテーションと生活機能との関連	摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集	24	346	2018
山田裕之,田村文誉,矢島悠里,菊谷武	患者誘導実習に参加した摂食嚥下障害患者のアンケート結果	日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集	37	136	2018

菊池真依, 水上美樹, 西澤加代子, 有友たかね, 田中祐子, 鈴木いずみ, 服部万記子, 久保山絵梨, 戸原雄, 田村文誉, 菊谷 武	多摩クリニックにおける歯科衛生士の役割ー現状と今後の課題ー	日本歯科大学歯学会大会・総会 プログラム・抄録集	31		2018
Nagashima K, Tamura F, Kikutani T	Evaluation of Lip-Closing strength in individuals with intellectual disability	The 2018 Annual Convention of the International Association of Orofacial Myology			2018
Tamura F, Yamada H, Kikutani T	Developmental problems concerning children's oral function, based on a questionnaire administered to dentists and guardians	The 2018 Annual Convention of the International Association of Orofacial Myology			2018
松田暁子, 行實志都子	職員の意識改革がもたらした, 利用者の主体性	日本精神障害者リハビリテーション学会 第26回東京大会			2018
中村丁次, 岡山慶子, 光真坊浩史, 米澤文雄, アサダワタル, 井上瑞菜	「障害のある人の食」の研究、スタート! ~厚生労働省科学研究で課題指定に~	アメニティフォーラム			2019.2.9

厚生労働大臣 殿

2019年4月24日

機関名 神奈川県立保健福祉大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 丁次



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的-一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 神奈川県立保健福祉大学・学長・教授  
(氏名・フリガナ) 中村 丁次・ナカムラ テイジ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2019年4月24日

厚生労働大臣 殿

機関名 神奈川県立保健福祉大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 丁次



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 神奈川県立保健福祉大学・准教授  
(氏名・フリガナ) 藤谷 朝実・フジタニ アサミ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

2019年4月24日

機関名 神奈川県立保健福祉大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 丁次



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 神奈川県立保健福祉大学・教授

(氏名・フリガナ) 笹田 哲・ササダ サトシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2019年4月24日

厚生労働大臣 殿

機関名 神奈川県立保健福祉大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 丁次



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 神奈川県立保健福祉大学・准教授  
(氏名・フリガナ) 行實 志都子・ユキザネ シヅコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。



2019年 4月 24日

厚生労働大臣 殿

機関名 神奈川県立保健福祉大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 丁次



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 神奈川県立保健福祉大学・学科長・教授  
(氏名・フリガナ) 杉山 みち子・スギヤマ ミチコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2019年4月24日

厚生労働大臣 殿

機関名 神奈川県立保健福祉大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 丁次



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的-一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 神奈川県立保健福祉大学・助教  
(氏名・フリガナ) 高田 健人・タカダ ケント

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

2019年4月24日

機関名 神奈川県立保健福祉大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中村 丁次



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 神奈川県立保健福祉大学・助教  
(氏名・フリガナ) 飯田 綾香・イイダ アヤカ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和元年5月29日

厚生労働大臣 殿

機関名 山形県立米沢栄養大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 鈴木 道子 印



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
- 2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究 ( H30-身体・知的一般-011 )
- 3. 研究者名 (所属部局・職名) 山形県立米沢栄養大学・学部長・教授  
(氏名・フリガナ) 大和田 浩子・オオワダ ヒロコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学 山形県立米沢栄養大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

2019年4月24日

機関名 日本歯科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 中原 泉



次の職員の平成30年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業

2. 研究課題名 障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の  
検証等のための研究 ( H30-身体・知的-一般-011 )

3. 研究者名 (所属部局・職名) 日本歯科大学・教授

(氏名・フリガナ) 田村 文誉・タムラ フミヨ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	神奈川県立保健福祉大学	<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」や「臨床研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。